

# 串間市議会

3月議会 6月議会 9月議会 12月議会

2018年5月

No.20

# だより

Kushima City Council No.20 2018.5

URL <http://www.city.kushima.lg.jp/main/council/index.html>

「議会だよりは串間市のホームページからご覧になれます」

TEL 0987-72-0691 FAX 0987-72-0932

Pick UP!

「平成30年度一般会計当初予算」  
126億円を計上

国道448号線 都井地区



平成30年3月16日(金) 串間中学校第1回卒業式

P 2 : 常任委員会・特別委員会報告

P 5 : 一般質問

P16 : ふるさと探訪

# 常任委員会 特別委員会

# 活動レポート

常任委員会は、議案の審査だけでなく、市民生活に深く関わることについて調査研究を行っています。最近の活動内容をご紹介します。

Activity Report

## 総務常任委員会

委員長 木代 誠一郎

議案12件を審査しました結果、全会一致で可決されました。その主なものをご報告致します。

### ◎議案第1号平成29年度串間市

#### 一般会計補正予算(第12号)

がんばっどふるさと応援基金推進事業において7億2,743万5千円の減額補正となっており、平成29年度のふるさと納税目標寄付額が10億円であったのに対し、平成30年2月末時点で1億58万4千5百円の寄付額であり、目標の1割程度。総務省の3割通達があったものの寄付額を伸ばす近隣自治体もある中で、寄付額が落ち込んだ原因を検証し、次年度につなげるべきとの意見や、担当部署だけに任せず市内事業者とより一層連携を図り、徹底した研究のもと全庁的に取り組むべきとの強い意見。

### ◎議案第4号平成29年度串間市

#### 民病院事業会計補正予算(第3号)

平成29年度の決算見込み額が約3億200万円の赤字決算となる見込みであり、職員に危機

感が見受けられないため全ての従事者が経営健全化に向け意思統一を図るべきとの強い指摘や、市民病院運営改善委員会を今年度は2回しか開催していないなど危機感が欠落しており、意識改革のため毎月の開催を徹底すべきとの強い指摘。

### ◎議案第13号平成30年度串間市

#### 一般会計予算

自治会活動支援事業で、自治会へ協働に関する補助金が計上されている。今後引き続き自治会との協働を推進していくためにも、自治基本条例等の整備も視野に入れて取り組むべきであるとの意見。

がんばっどふるさと応援基金推進事業において、ふるさと納税の平成30年度の目標寄付額を2億円と見込んでいるが、これまでと同様の取り組みであれば目標額を達成することは極めて困難であると言わざるを得ない。担当部署任せではなく全庁的に取り組むべきとの強い意見や、平成29年度並みの10億円を目標にして取り組むべきとの強い意見。

平成30年度より契約管理システム導入に伴い、公平公正な指名競争入札が図られるよう努めるべきとの意見。

### ◎議案第16号平成30年度串間市 病院事業会計予算

市民病院の累積赤字が約13億円以上に膨らんでおり、早急に経営健全化計画等を策定し、各部門の対策を講じるべき。また、市長部局に経営能力にたけた人材を招聘し、対策チームを集結させ抜本的な改革が早急に必要であるとの強い指摘や、この状況で依然として委託料等が増額されているため経費の徹底的な見直しが必要であるとの強い指摘。

## 文教厚生常任委員会

委員長 坂中 喜博

今定例議会において、文教厚生常任委員会に付託を受けました議案9件は全会一致で、議案8件並びに閉会中の継続審査1件が賛成多数で可決されました。次のような意見がありました。

### ◎議案第1号平成29年度串間市

#### 一般会計補正予算(第12号)

公立保育所運営法人選定費において、民間委託になればいつでも廃園になるとい

とが隣り合わせである。地域保育の確保の観点から、廃園にならないよう努めるべきであるとの意見。

### ◎議案第13号平成30年度串間市一般会計予算

○独居老人、独居認知症等の見守りについては、現行取り組みと地域見守り協定を事業者等と締結し情報収集に努め、すぐに対応できる体制を整えているとの事である。

○環境美化対策事業において、不法投棄対策として、巡回監視体制の強化と合わせ、監視カメラの導入も含め更なる対策に努めるべきとの意見。

○福島高等学校支援事業において、入学支援金補助や給付型奨学金等の事業補助が予算計上されている。福島高等学校入学者は減少していることから、特色を生かし、入学者が増えるよう努めるべきとの意見。

同じく串間中学校スクールバス運行業務委託が予算計上されているが、バスの保管・管理の在り方について、再度、受託事業者と協議を行い、その結果を議会に報告すべきとの意見。

○各種団体補助金において、

昨年よりも一部協議会への人件費を拡充している。当初予算編成方針に沿った予算編成及び運営補助金の在り方等見直しをすべきとの意見。

### ◎議案第31号串間市介護保険条例の一部を改正する条例

自治体の仕事は、福祉の向上を目指すとなつては、住民税、保育料、介護保険料、就学援助等、低所得者層に直接大きな影響を与える。負担増となることから見直しをおこなうべきとの意見。

### ◎議案第35号串間市民総合体育館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

スポーツ振興を図るため小学生の利用や教育委員会が後援するものについても使用料の減免の対象とすべきとの意見。

### ◎議案第123号日南串間広域不燃物処理組合の規約変更に関する協議について（閉会中の継続審査）

合意文書について具体的な表現がないことから再度協議され最終合意書が提示されたところである。これまでの当該議会での議論や指摘を踏まえ、

最終処分場埋め立て期限を迎える平成33年度までに平成34年度以降の負担割合については再度協議し、必ず見直しをおこなうこと。また今後組合の管理運営等の在り方など重要な案件が広域不燃物処理組合議会の中で十分審議されな



委員長 中村利春

今定例会に付託を受けました案件は議案11件、継続審査となつていました陳情1件「道の駅規模縮小と住民説明会の開催」であり全議案を可決し、陳情については前議会に引き続き継続審査の申し出をした次第です。

### ◎議案第1号平成29年度串間市一般会計補正予算（第12号）

農業委員会費の減額については、新たな委員と最適化推進委員の研修が出来なかった結果だ

が、今後は研修に参加できる日程を組むべきである。

### ◎議案第13号平成30年度串間市一般会計予算

○全体として、測量設計委託等は、コンサルタント等の見積書の精査を徹底して行い、経費削減を図るべき。

○上水道事業補助金が一般会計から繰り出されているが、将来負担と経営を十分に精査し行うべき。

○農業委員会の最適化推進委員報酬は、報酬を増額し業務に専念できる環境を整え、農地問題の解決を図るべき。また研修の効果を高めるため全国の先進地まで広げるべき。農業者年金は、加入推進を図り農家の生活の安定に努めるべき。

○串間温泉いこいの里管理運営費は、無償譲渡案と、不調に終わった場合のゆつたり館の運営、本館、支所・コミュニティ施設活用案であり、十分な市民への説明と理解は必要不可欠との指摘。

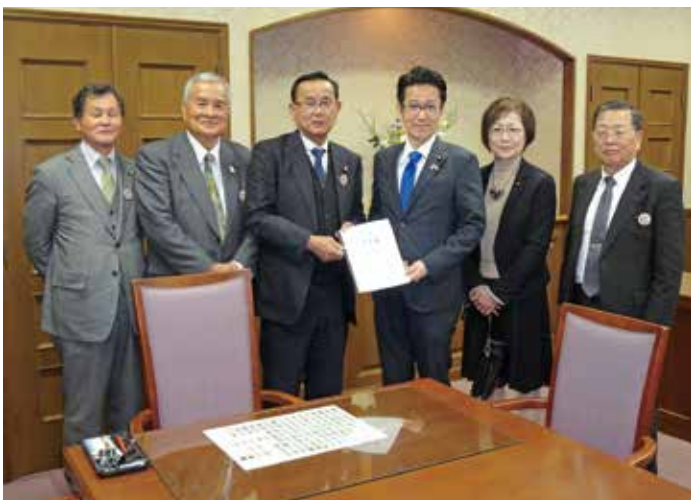
○くしま農畜産物次世代オリジナルブランド創出事業は、農業振興に欠かせない事業で長期的な視点から継続して取り組むべき。



国体誘致調査特別委員会調査活動  
平成30年1月16日 愛媛県宇和島市

一部区画整備の予算だが、各課が連携し地域全体の整備を目指すべきである。また地籍調査事業は、今後は山林境界明確化を進めている森林組合と連携し進捗率を上げるべき。また地域林政アドバイザー事業が新事業にあるが、未植栽地等の解消など山林の健全な保全に努めていただきたい。

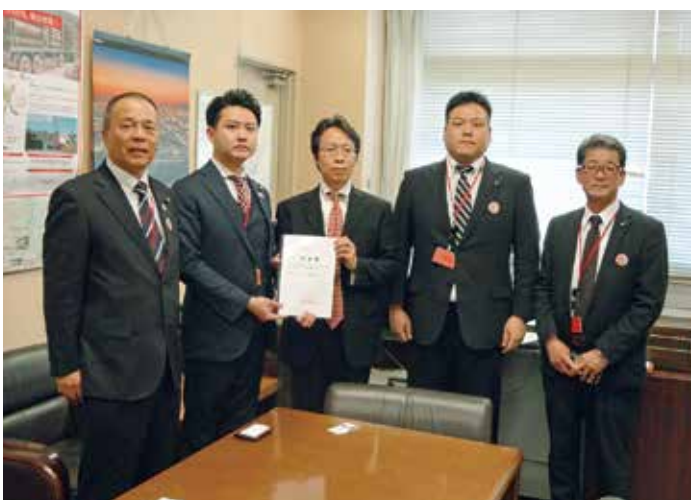
○都井岬再開発事業は、水源確保を最優先にし、測量設計はビクターセンターの活用も含め、将来負担の軽減を図るべき。また高松キャンプ場



東九州自動車道及び国道448号線要望活動  
平成30年2月20日 財務省財務大臣政務官

整備事業は地元住民に十分な説明を行い、連携して事業を進めるべきとの強い意見。

○市街地整備の測量設計委託料は、施設機能を再度精査し変更も視野に入れた事業にすべきとの強い指摘。旧吉松家住宅前広場整備は仲町住民と協議し、景観に配慮した整備をすべき。また道の駅については、本年運営者を決定するとのこと。施設機能の課題の解決、駐車場の運用、国道との交通対策等も計画に反映すべき。



東九州自動車道及び国道448号線要望活動  
平成30年3月28日 国土交通省道路局

○耕地災害復旧については、昨年10月の耕地災害であり、現在も15ヶ所残っており、本年の耕作に向け早急に復旧すべき。

◎議案第17号平成30年度串間市水道事業会計予算  
小規模飲料設備や井戸水を使用している地域住民には、定期的な水質検査を行うべき。



# 一般質問



市議会議員が市に対して皆さんの生活にかかわる内容を質問します。

市長や行政委員会に市政の状況や将来の方針、住民生活に密接に係わる事項について質問をすることで、今申間市ではどんなことが行われているか知ることができます。



## よりよい運営と 将来を見込んで



ないとう けいすけ  
内藤 圭亮 議員

**Q** 今回の当初予算を決める議会前に事業の事前説明があり、十分に内容を把握できなかったこと。我々、議員は議案の一部にしか意見できず、市民の付託を受けている立場として、一定例会前の議案事業案(案)の構築↓全員協議会での議員の意見聴取↓事業評価↓議案構築といった市政運営の仕組みを変えることが必要ではないのかと問題提起し、一般質問しました。

### 再生可能エネルギーについて

**Q** 買取価格も落ち込んでいく中、独自性と自主財源確保の為に、売電事業を今後、取り組むことはないのか。

**A** 今のところ計画はないが様々な取り組みをしていく中で検討はしていく。

### 都井岬再生計画について

**Q** 都井岬再生計画での米良電気との協定内容を市民に示すとともに十分に精査確立し、計画に見合うトイレや休憩施設の計画はデジタルセンターを活用し保留しておくべきではないか。(軽食等の提供で岬で経営されている事業者を圧迫せずに都井岬の景観、トイレ看板等の整備が最善と考え、将来、道の駅にも再生可能エネルギーでのPRブースは重複する為)

**A** 米良電機との協議を密にし、計画通り着手設計していく。

### 申間市民病院の経営改善について

**Q** お子さんの診療の大半は保護者同伴で仕事の時間休や半日休をとられている実態。待ち時間や診療患者数、診療までの予測時間がわかるような予約診療システムや表示システム配備予定、外来患者の増加を図る為取り組みはされているのか。

**A** システムの導入等の計画はないが接遇や対応を改善し、柔軟に患者さんの不満に向き合った対応をしていきたい。

### 中心市街地まちづくりについて

**Q** 道の駅用地の解体での通行止めにより、駅前の仲町商店街への右折車もいることから交通渋滞を止めていく現状と完成後、駅前の拡幅の整備計画等がどうなされていくのか。

**A** 国、県との協議を進めていく。

**Q** 高松漁村広場について調査設計に着手されることになった単独事業費の内容、にぎわい創出事業等のイベント補助金交付要綱の見直し、企業立地促進条例について質問し、いこの里の今後の経営方針の慎重な協議、道の駅建設に伴う歩ける中心市街地をつくる為にも中心市街地の景観ガイドラインの策定やJR、コミュニティバス等のダイヤ改正等の早めの計画をお願いして一般質問を終わりました。

# ”入りを量って 出づるを制す”の 経営を！



いであきと  
井手 明人 議員

## 公共施設等総合管理計画

**Q** 専門部署を設置し早急に取り組むべき。施設毎の規模適正化、健全化の方針は決まったのか。

**A** 検討中であり、出来るだけ早めの取り組みを目指す。

## 不法投棄対策

**Q** 大きな社会問題であり徹底した不法投棄防止対策をすべき。来年度予算で監視員2名を採用し監視体制と防止対策を強化する。

**A** 警察、県土木事務所等関係機関と連携して不法投棄防止キャンペーンを計画してはどうか。

## 観光振興

**Q** ジオパーク認定に向けてその後の取り組みは。

**A** 2月に研修会に参加。県の調査結果が今月中に出るので早めに日南市と協議する。

## 都井岬再開発

**Q** 米良電機との協定見直しが出来ていない段階での今回の計画は拙速すぎるし予算の無駄遣いではないか。ビジターセンターにその機能を委ねるべき。

**A** 秋口には協定内容の見直しが出来る。そのことも含めて慎重に取り組む。

## 高松キャンプ公園

**Q** 市職員の能力開発や経費削減のためにも土木・建築技師による調査設計をすべきではないか。

**A** 市の技術者で実施する能力はある。チーム編成による取り組みを検討する。

## 産業観光

**Q** 市内の再生可能エネルギー施設を産業観光として活用するための計画は進んでいるのか。

**A** より効果的に売り出すための計画を策定中である。

**Q** 岡山県真庭市の事例を参考にすべし。その取り組みについて視察研修に行ったらどうか。

**A** 前向きに検討する。

## ふるさと納税

**Q** 寄付額1億円という目標達成率1割はあまりにも酷い。どんな取り組みをしたのか。

**A** アドバイザリー事業も活用してキャンペーンやイベント等も行ったが結果が出なかった。

※その他福島高校存続問題について質問しました。

# 人口減少に 耐えられるか



ふくぞえ ただよし  
福添 忠義 議員

戦後、国は高度経済成長期に社会資本の整備として数々の大型建築物、道路整備、港等を建設してきた。その維持管理に莫大な費用の調達に頭を痛めている。串間においても決して他人事ではない。

○道の駅は非営利部門を縮小して完成後の維持管理費を減らし市の財政負担を減らすべきだ。非営利部門だけで人件費を含めると市の負担が年間4千万円、営利部門の状況でさらに増えることが考えられる。

○市民病院の整備は待ったなしだ。全庁的に取り組まなければ、病院機能を維持できなくなり、市民の安心・安全の砦が守れない。病院側に任せきりでなく、健全化計画を早急に策定して対策を立てる。

○本城温泉「いこいの里」は直営で温浴のみ継続することだが、串間は宿泊所が不足している。全施設を稼働すべきだ。早急に民間事業者を選定して本格的に営業を始めて串間の観光施設の拠点として再出発すべき

で安易に他に転用すべきでない。

○都井岬再開発は、民間主導の計画だったが2年前、串間市は米良電機株と都井岬再開発で協定書を締結しているが動きがない。市は岬に、約2億円かけて人が立ち寄る施設を新たに設置することから馬の館（ビジターセンター）は施設の完成後、廃止撤去すべきだ。何のために1億円かけて旧観光ホテルを撤去したか不明だ。

○ふるさと納税は10億円の目標に対し1億円の実績だ。他の市町は目標を上回っている。厳しい市の財政を考えると取り組みの弱さが目立つ。

○TPP対策が急がれる。農業部門では、予想以上にその影響は大きく試算されている。対策をまとめて、国・県に上げよ。5年後の農協の県内一本化、漁協の合併等の対策も急がれる。

○国保、介護保険の改定がある。市民負担が増えないよう、最大限の努力をするべきだ。

## 串間市に求められる課題



せ お としろう 議員  
瀬尾 俊郎

**Q** 市民と行政が一緒に取り組む地域活性化を図ること、くしま創生会議を設置されましたが、具体的にどのようなスタンスで行政に反映されていくのか。

**A** 平成30年度は働く場を創出し、若者定住と子育てしやすい環境を図り、市民との交流を図りながら真の地方創生に取り組む。

**Q** 農林水産業について、串間市に於いては、第一次産業が基幹産業であるが、人口減少の進む中、後継者対策をどのように取り組まれていくのか。

**A** 若い農業者就農促進事業などの事業を使い、新規就農者に対し支援を行っている。

**Q** 住宅リフォーム補助事業について、今回、予算1千万円が計上されているが、1回補助を利用すると2回目の

補助は該当しないという事だが、再度補助は受けられないのか。また、新築住宅建設にも補助の考えはないのか。

**A** 今回の予算での補助では考えていないが今後の課題として受け止める。

**Q** 教育行政について、串間中学校の自転車通学生の指導や通学路及び防犯灯の整備は喫緊の課題であるがその対策は行われているのか。

**A** 自転車通学生の指導、及び防犯灯の整備などは、確認しているところではあるが、防犯灯のないところなどがあれば今後整備に取り組む。

**Q** 地域の活性化について、北方小学校の児童が遠足など極楽寺古川地区の公園を利用して遊ぶが、遊具やトイレなどの整備は出来ないものか。

**A** 公園施設を確認し状況を判断したい。

## 市民総意で一致団結の串間市



いわした ゆきよし 議員  
岩下 幸良

**Q** 施政方針の考え方は。

**A** 今回の施政方針については、人口減少の克服と地域活性化に向けた、来年度一年間の市政の取組と、就任して初めて予算編成を行ったその決意を表したものだ。

**Q** 学校給食の無償化。串間市でも高校を給食化にして援助してどうか。学校存続につながるのでは。

**A** 福島高校へ給食を提供することは、高校側と話題になっている。給食を受け入れる施設面での整備、衛生・安全管理に係る給食指導、職員体制、生徒・保護者の意見など検討が必要な課題である。

**Q** 上町の諸問題について。

**A** 上の城工業団地への入口については、現在の交差点から新たに県道一氏・西方線から工業団地へ通ずる上町・城山線の道路整備として、

平成30年度より測量調査に着手する計画としている。上町・西方線についても併せて30年度に測量設計に着手する計画です。

以下、質問事項を報告します。

- ① 30年度予算編成の基本的考え方
- ② 29年度と30年度の比較
- ③ 市木と本城地区のガソリンスタンド対策
- ④ ふるさと納税をしていた方がいた方に対して返礼ハガキを出す
- ⑤ 病院の29年度決算の見通しと赤字の累計は
- ⑥ 高齢者のゴミ対策と医療難民対策は
- ⑦ 農家の収入保険制度について
- ⑧ 仲町通りの道路補修対策
- ⑨ 運動公園の整備について
- ⑩ 都井岬再開発
- ⑪ 高松キャンプ場公園整備事業
- ⑫ 温泉運営費について
- ⑬ 福島高校存続について・串間中からの52%の入学率について
- ⑭ 国道448号線の復旧と蔵元橋の歩道設置について

## 先進地に学べ



くろみず けんいちろう 議員  
黒水 憲一郎 議員

○東九州自動車道の要望活動について、今後の取り組みをどの様に行う考えか伺いたい。

○道の駅について、説明会の今後の計画を伺いたい。公開質問書への対応を伺いたい。

○地産地商について、消費ではなく外貨獲得の考えであるが市長はどう考えているのか。

○CASフリージング・チルドシステムについてどう考えるか。

○高松漁村広場について、自前での設計は出来ないのか。

○志布志との交流は今後どのように進めるのか。

○人材について、創生会議に対して元職員より市職員に能力が無いとの市長の考えだとの声に對して。

○JR日南線の今後の計画は。

○地域創生学の今後の展開につ

いて。

○福島高校の存続について、隠岐島前高校の取り組みを参考にせよ。

○市民病院について、座談会での市民の声は。クレーマーへの対応についてはどうしているのか。

○民泊について、現状と今後の計画について。

○市長の座右の銘を伺いたい。

以上の要旨で質問を今議会で取り上げました。

島根県海士町の山内道雄町長の書かれた『離島発 生き残るための十の戦略』を取り上げ、質問を構成して行いました。私として、この様な先進地に学び生かすべきと考えます。

通告していた防災無線の活用、市外通勤者について、裁判の進展状況と今後の対応等については、質問できませんでしたので6月議会に回します。

## 市長の政治姿勢について



さかな よしひろ 議員  
坂中 喜博 議員

### 政治姿勢 デマンド型交通について

○超高齢化社会における交通手段として、公共交通の空白地域の解消に向けて全国的に急増しているデマンド型交通は、事前予約によって利用者を自宅まで送迎できるシステムであり、そのデマンド型交通を導入する考えはないか。

○本市に取り入れる場合のコストや、最適な運行方法について関係機関と連携しながら具体的に検討して参りたい。

○公共工事の平準化について、建設業者等の経営の効率化と安定化を図る上から、串問市の公共工事の発注を一年を通じて平準化する考えはないか。

○国・県も目指している早期発注を含めて、年間通じての発注件数の平準化へ向けて庁内関係課との連携を密にして調査・研究を行っていく。

○職員の研修について。人材不足の中で農業・福祉・

建設業等、日夜汗水を流して努力されていますが、新規採用職員を2〜3月間、民間での体験研修を実施する考えはないか。

○民間企業の方や地域住民と交流し相互に啓発し合う機会として重要であることから検討して参りたい。

○高松海水浴場の漁村広場にバーベキューやキャンプなど観光スポットとして、整備する計画の中で、潮干狩りが出来るようにアサリ・ハマグリを放流する考えはないか。

○漁業協同組合・観光団体と協議し前向きに検討していきたい。

○その他、串問市業務の包括民間委託、TPP11及びEPAの影響、JR減便問題、小中学生の学力対策、児童生徒の携帯・スマホの情報モラル教育、小学校の外国語の方針・対応について、高齢者の安否確認、健康都市づくり、観光開発、障がい者支援対策について等を質問してまいりました。



## 健全な国保運営



かどた くにみつ  
門田 国光 議員

**Q** 国保運営は、安定した運営こそが、市民の負担軽減につながるものと思います。ただ少子高齢化により、医療費の伸びが高く、国保運営に苦慮している自治体が多くなり、市民負担も高く、自治体間に格差ができております。ゆえに制度改革が行われ、県で管理運営を行うことになったが、どこがどう変わったのか。

**A** 県が国保運営の責任主体となる役割としては、市町村ごとに、該当年度に必要な国保事業の納付金を決定し、納付させ、県内の市町村の給付費に必要な費用を全額交付する。県が市町村ごとの標準保険税率を提示、市町村においては、標準保険税率を参考に国保税を決定する。

**Q** 当分は現行どおり、各市町村で、国保税を決めることですが、本市においては、応能割（所得割・資産割）50・8%、応益割（均等割・平等割）49・2%となっています。日南市では応能割（49・2%）、応益割（50・8%）となっています。各市ではらつきがありますが、本市の状況はどうみたらいいのか。

**A** 本市においては、平均的能力及び受益に応じた、バランスを考慮し、50対50の構成割合を維持していく。

**Q** 運営基金の状況と、必要性をどう見ておられるのか。

**A** 医療費の高騰、収納不足による財源不足で県より貸付、交付を受けた場合は、保険税にて賄わなくてはならず、次年度の保険税が高くなりま。そうならないように運営基金が必要です。現在基金は29年度末で約8千万円を見込んでおります。

## 市長の政治姿勢について



きくなが ひろちか  
菊永 宏親 議員

**Q** ワシマゲンキプランの新年度予算。

**A** くしま創生市民会議、JR日南線利用促進事業、高松キャンパス公園整備事業、外国語教育推進教員配置事業等の予算に取り組み。

**Q** 木材輸出の福島港利活用再整備の取り組み。

**A** 福島港利活用は、木材輸出戦略協議会で検討する。再整備については、木材、水産関係者を含め総合的に検討する。

**Q** 農業後継者や研修生対策として大東地区に市営住宅建設について。

**A** 現在の市営住宅整備計画にはないが、空き家バンクの活用を含め、必要性は認識しているので検討する。

**Q** 串間温泉「いこいの里」の活用方法について。

**A** 検討委員会の検討結果、設置目的を維持して、民間業者に無償譲渡することで国

と協議する。無償譲渡出来ない場合は、ゆったり館を整備し、リフレ館とコミニティセンターとして活用することを検討する。

**Q** 道の駅の補助金内容と今後の取り組みについて。

**A** 社会資本整備総合交付金で適正化に該当する補助金である。今後の取り組みは、維持費関係を含め、現在、明確な範囲の資料で地区説明会に取り組む。

**Q** 市民の健康づくりの還暦無料検診の取り組みは。

**A** 市民が健康で働くためには、健康診断が大変重要であるため、本市の重要課題として検討する。

### ふるさと納税について

ふるさと納税の取り組みとして、本市特産物を季節に応じて届ける案や、納税者のネームプレートを「道の駅」等に設置する案、ANAと連携したふるさと納税の提案を行った。

## 当初予算と串間市の課題解決策は



なかむら としはる 議員  
中村 利春

**Q** 市長の施政方針にある3つの柱「真の地方創生」、「暮らしと心の豊かさ」、「人財育成」で本市の将来像が描けるのか。また、その裏付けの当初予算の狙いは。

**A** 都井岬の再開発や、高松漁村広場のアウトドア活用策、また「道の駅」を中心とした市街地の再開発等を中心に、交流人口の増大、観光振興を核として、串間市第5次長期総合計画に沿って再興を図っていききたい。

**Q** 連携型中高一貫教育校の検証と福島高校の存続は。

**A** 県の中期実施計画で2022年まで存続となっている。その後は未定となっているため、この後は未定と受け止め、志願者の確保は、市内外を問わず様々な対策を打つべきと考えている。

**Q** 新たな再生可能エネルギー、洋上風力発電の可能性について。

**A** 宮崎市の業者から話はあった。今後可能性については検討してみたい。

**Q** 平成29年度ふるさと納税の収入見通しは。

**A** 2月28日現在、5745件、1億58万円であり、

2月末現在の寄附額から必要経費の見込額を差し引くと、1千800万円の残。

**Q** 地域コミュニティの取り組みと未定となっている集落支援員の応募状況は。

**A** 北方自治会と行政で構成する地域連携組織検討委員会で結成にむけ協議中であり、新たな支援員についてはサービスマネジメント経験がある女性に決定。

**Q** 起業・既業支援プロジェクト活用の3年間の現状は。

**A** 10事業者中、9事業者が現在も継続中。

**Q** 農畜産物次世代ブランド事業の市独自ブランド制度は出来るのか。

**A** 国や世界規模のブランド認証を受けた産品を市独自のブランドと考えている。

**Q** 養殖漁業の拡大とその課題は。

**A** いけす拡大を中心とした養殖は、組合員総意が必要であり、漁協との話し合いを進め、推進していきたい。

## 福島高校存続について



いまえ たけし 議員  
今江 猛

**Q** 県教育委員会は2018年度県立高校一般入試の最終志願状況を発表されたが、福島高校の募集人員は54名に対し、志願者2名、倍率は0.04倍で連携型中高一貫校となり期待されましたが、今回の状況をどのように分析されたのか伺いたい。

**A** 福島高校への出願状況と現状についてのお尋ねですが、一般入試の出願は、募集人員54名に対し、2名となり、連携型中高一貫校に係る連携型入試での内定者が66名であり、3学級編成の基準となる81名の入学者を確保することは難しい状況であると考えております。本市では平成23年3月に市長を会長として、市内関係団体の代表者で構成される「福島高校を育てる市民の会」を設立し、福島高校の存続のための支援については、「福島高等学校支援事業」として、遠距離通学費補助、検定料補助、部活動出

場補助に加えて、入学支援金の助成、成績優秀な生徒への給付型奨学金の支給などの支援を行っております。今後も福島高校の存続のため、「福島高校を育てる市民の会」や学校、市内関係団体の方々の意見を踏まえ、市を挙げての支援に取り組んでいきたいと考えております。

その他に次のような質問を行いました。

- ① 29年度見込み決算について
- ② 30年度当初予算について
- ③ 認定農業者の実績と計画について
- ④ 新規就業総合支援事業について
- ⑤ 耕作放棄地再生利用対策事業について
- ⑥ 燃油価格高騰対策の基準価格及び発動実績と今後の動向について

## 正念場を 乗り切るには



きしろ せいいちろう 議員  
木代 誠一郎

**Q** 来年美郷町に開校するみやざき林業大学校だが、当市としてどのように関わっていく考えか。市長は特段強い思い入れもあり、その思いをこれまで以上に体現化し、本市「独自の活性化策につながるよう取り組むべきだ」と考えるが。

**A** 1月に県の環境森林部長が来られ、本市へ協力依頼もあった。現時点では本市独自の取り組みは未定だが、以前よりその必要性を訴えてきた一人として可能な限り協力していく。

**Q** 新しく改正した企業立地促進条例の中で、宿泊施設は対象となっているのか。新規の開設、増築ではどういった内容の助成が考えられるのか。

**A** 宿泊施設は条例の規定に該当し、条件をクリアすることで優遇措置の対象となる。優遇措置として固定資産税免除、雇用促進奨励金、用地取得費助成、施設整備費助成、社員寮賃借料助成が事業内容に応じて活用できる。

**Q** 都井岬に建設予定の施設（休憩スペース、トイレ

など）は、今後の都井岬再開発にどのように繋げていくのか。観光客をおもてなしできるスペースにし、再開発が進むまで体験型観光の拠点にすべき。

**A** エコツーリズムの拠点、再生可能エネルギーPR施設として活用する。今後米良電機さんの見直し計画の内容を見極めながら、アウトドアリゾートを念頭に魅力ある観光地を目指していく。

**Q** 当市は、市外に住む住民（学生など）に対して不在者投票も認めていない。住民票は転居先に移すのが原則なのは当然だが、大多数の自治体は不在者投票も認めている。インターネットで選挙運動が可能な時世に、若者の投票の権利を奪うことは公正を欠かないか。

**A** 現在は県内自治体同一の対応。住民票の速やかな届け出が原則であるが、事の重要性は認識しており県選管とも議論していく。

## 高齢者（独居高齢者） 支援が急務 早期対策を



かわさき ちほ 議員  
川崎 千穂

**Q** 孤独死や認知症の事例があるが独居高齢者の見守りについてどう取り組むのか。

**A** 民生委員や自治会など地域の見守り、介護事業者の定期訪問、配食サービスによる支援や、（申間地域見守り活動に関する協定）による見守りに努めている。

**Q** もしもの時の緊急体制について。

**A** 高齢者在宅安心サポート事業（詳細は）

**A** 65歳以上の高齢者で、慢性疾患により日常生活に注意を要する方、どちらかが寝たきり、または認知症の状態にあり、申請にあたっては協力員3名を登録することを条件としサービス利用料は月額300円となっている。

**Q** 買い物弱者支援で移動販売事業者に補助はできないか。

**A** 検討していく。

**Q** 特殊詐欺の対策で電話機に注意喚起のシールを配布する考えは。

**A** 警察と連携し多様化する特殊詐欺にあわないよう

啓発活動に力を。

### 【消防・危機管理体制】

**Q** 公共施設にAEDが設置してあるが、24時間体制が必要と考える屋外設置について対策は。

**A** 市内35カ所の公共施設に配置しているが盗難による事故などを考慮している。

**Q** 29年度の救急出動件数とAEDの遠隔地の消防車両への配備は。

**A** 救急出動件数は、809件。遠隔地の消防団の活動拠点のAED配備に向け取り組んでいく。

### 【教育行政】

**Q** 小中学校での心肺蘇生法の講習について、保護者、地域の方を含め実施してはどうか。

**A** 心肺蘇生法とAEDの講習を申間消防署に依頼して実施している。教員、保護者、地域の方々を含め各学校で計画実施をしていただきたいと考えている。

**Q** 中学3年生へのインフルエンザワクチンの公費助成をお願いしたい。

**A** 公費の助成は考えていない。

# 「払えない」 介護保険料の 値上げはやめよ



こだま まさたけ  
児玉 征威 議員

広がる貧困、生活保護費削減は  
中止せよ

**Q** アベノミクスの5年間、所得の最も少ない下位10%層の所得は△6万円の134万円、政府はこれを理由に生活保護費を最大で5%削減する計画です。格差は広がるばかりです。

**A** 市民の平均所得は139万6千円、年金受給者で120万円（貧困ライン134万円）以下の所得の人は全体の77%（約5647人）となっている。

**介護保険料月810円の値上げはやめよ**

**Q** 介護保険料を月平均810円値上げ、年金から69、120円特別徴収される。これに国保税一人平均108,749円（県試算）等払いたくても払えない。保険料です。値上げは中止すべきです。

**A** 中止は考えていない。

**子どもに課税する国保税の減免を**

**Q** 高く払えない国保税、子どもにも1人32、

300円が課税されています。会社員などが加入する被用者保険の保険料には子どもには課税されていません。

**A** 独自の減免は困難。国・県に要望していく。

**「教えて！道の駅」で答弁不能に！**

**Q** 市広報2月号「教えて！道の駅」では「まちづくり計画では中心市街地を3つの区分。ゾーンごとに目標を設定する」と言っているがゾーンごとの目標は？「H33年3月完成予定」と言っているが、「いつ「庁議」で決めたのか？

**A** ゾーンごとの目標は答弁できず。3月完成は、庁議で決めている。

**有明・大東・市木小教室にエアコン設置**

**Q** 小学校教室の空調設備、トイレの洋式化を求めました。どうなっていますか。

**A** 有明小7、大東小8、市木小4教室に空調設備を整備する。昨年設置した福島小学校以外の全ての小学校に24基の洋式トイレを設置する。

## 3月議会・討論

児玉 征威

一般会計、国保会計、後期高齢、病院会計、水道会計等については反対、他の議案については意見を付けて賛成討論を行います。

**格差広がるなか保険料の値上げはやめよ！**

大企業の利益は2.5倍に増え内部留保は400兆円を超えました。労働者の実質賃金は16万円も低下、所得の最も少ない10%の貧困層の所得は134万円まで減少、貧富の格差が広がっています。

**○自治体の仕事は「福祉の増進を図る(地方自治法第1条の2)」となっています。**

①4月から介護保険料は9,720円、後期高齢保険料も1,509円、国保税も14,021円の値上げが予定されています。生活保護費が削減されますが、住民税、保育料、介護保険料など低所得層の生活悪化に大きな影響を与えます。

②串間市民の平均所得は139万6千円です。これは日本の貧困ライン層と比べても深刻です。国民年金は毎年下がって779,300円で生活保護費とほぼ同じです。生活保護受給者は介護保険料や国保税、医療費などは免除されています。介護費の削減や保険料の値上げは中止すべきです。

③30年度、「道の駅」建設等に5億2,433万円、都井岬にトイレ・売店施設建設等の設計費2,287万円、高松漁民広場にパーベキュー等のキャンプ施設設計費1,537万円、串間温泉運営費1億4,900万円等が提案されています。採算の見通しのない事業は見直すべきです。

④串間市の事業評価(KPI)は？10億円目標のふるさと納税は目標の1割、串間温泉は6,500万円の赤字の見込み、都井岬ビジターは2,000万円、旧吉松家は1,000万円、公共下水は加入率62%のため1,562万円の赤字、市民病院は累積赤字約13億円です。道の駅、利用者30万人、過大な目標ではないでしょうか。

**○日南串間広域不燃物組合の条例改正は、北郷・南郷町が日南市に合併したことを理由に、北郷・南郷町の均等割負担分約500万円を串間市が負担する条例をいま改正するのに「道理」がありません。30年間施設を利用する長寿命化計画が今年度作成されます。そこで均等割を議論すべきです。**

**○「道の駅の規模縮小を求める陳情書」は、30年度、中心市街地まちづくり事業費5億2,433万円が提案されている。29年度予定していた道の駅設計委託費4,451万円も、30年度に繰越されている状況です。「先送りの継続審査」ではなく採択すべきです。**



平成30年3月 第1回申間市議会定例会 議案等の審議結果及び各議員評決

		議決結果	内藤 圭亮	菊永 宏親	坂中 喜博	木代誠一郎	川崎 千穂	今江 猛	瀬尾 俊郎	井手 明人	中村 利春	岩下 幸良	黒水憲一郎	門田 国光	福添 忠義	児玉 征威	山口 直嗣	
市長提出議案	議案第1号	平成29年度申間市一般会計補正予算(第12号)	原案可決	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	×	-
	議案第2号	平成29年度申間市国民健康保険特別会計(事業勘定)補正予算(第5号)	原案可決	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	議案第3号	平成29年度申間市後期高齢者医療特別会計補正予算(第5号)	原案可決	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	議案第4号	平成29年度申間市民病院事業会計補正予算(第3号)	原案可決	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	×	-
	議案第5号	平成29年度申間市簡易水道特別会計補正予算(第5号)	原案可決	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	議案第6号	平成29年度申間市水道事業会計補正予算(第5号)	原案可決	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	×	-
	議案第7号	平成29年度申間市農業集落排水事業特別会計補正予算(第4号)	原案可決	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	議案第8号	平成29年度申間市公共下水道事業特別会計補正予算(第4号)	原案可決	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	議案第9号	平成29年度申間市漁業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	議案第10号	平成29年度申間市物品特別会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	議案第11号	平成29年度申間市介護保険特別会計(事業勘定)補正予算(第5号)	原案可決	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	議案第12号	平成29年度申間市市木診療所特別会計補正予算(第5号)	原案可決	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	議案第13号	平成30年度申間市一般会計予算	原案可決	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	×	-
	議案第14号	平成30年度申間市国民健康保険特別会計(事業勘定)予算	原案可決	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	×	-
	議案第15号	平成30年度申間市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	×	-
	議案第16号	平成30年度申間市病院事業会計予算	原案可決	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	×	-
	議案第17号	平成30年度申間市水道事業会計予算	原案可決	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	×	-
	議案第18号	平成30年度申間市農業集落排水事業特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	議案第19号	平成30年度申間市公共下水道事業特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	議案第20号	平成30年度申間市漁業集落排水事業特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	議案第21号	平成30年度申間市物品特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	議案第22号	平成30年度申間市介護保険特別会計(事業勘定)予算	原案可決	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	×	-
	議案第23号	平成30年度申間市市木診療所特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

		議決結果	内藤 圭亮	菊永 宏親	坂中 喜博	木代誠一郎	川崎 千穂	今江 猛	瀬尾 俊郎	井手 明人	中村 利春	岩下 幸良	黒水憲一郎	門田 国光	福添 忠義	児玉 征威	山口 直嗣	
市長提出議案	議案第24号	申間市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	議案第25号	申間市職員退職手当支給条例等の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	議案第26号	申間市個人情報保護条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	議案第27号	申間市使用料及び手数料条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	議案第28号	申間市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	議案第29号	申間市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	議案第30号	申間市国民健康保険条例及び申間市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	×	—
	議案第31号	申間市介護保険条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	×	—
	議案第32号	申間市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	議案第33号	申間市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	議案第34号	申間市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	議案第35号	申間市民総合体育館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	議案第36号	副市長の選任につき議会の同意を求めることについて	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	議案第37号	教育長の任命につき議会の同意を求めることについて	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第38号	平成29年度申間市一般会計補正予算（第13号）	原案可決	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	
継続審査	議案第123号	日南申間広域不燃物処理組合の規約変更に関する協議について	原案可決	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	×	—	
請願・陳情	陳情第5号	中心市街地に建設予定の道の駅に関する規模縮小と市民への説明会実施についての陳情書	継続審査	○	○	○	○	—	○	×	○	○	○	○	×	×	—	
議員提出議案	議案第8号	子どもの医療費等の負担軽減に関する意見書	原案可決	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	—	

○賛成 ×反対 △棄権 - 欠席等 - 採決なし

※議長（山口直嗣）は採決に加わらないので「—」で表示。可否同数のときは、議長の決するところによる。



懐かしい景色に出会う

# ふるさと探訪

内藤 圭亮

## 仲町地区「愛宕神社」

あたごじんじや  
愛宕神社は、京都市右京区に総本社を置き、信仰を集め全国に約900社もある。現在は「愛宕さん」とも呼ばれる。火伏せ・防火に靈験のある神社として知られ、「火迺要慎ひのようじん」と書かれた愛宕神社の火伏札は京都の多くの家庭の台所や飲食店の厨房や会社の給湯室などに貼られている。また、「愛宕の三つ参り」として、3歳までに参拝すると一生火事に遭わないと言われる。

分社である串間では毎年7月23日に愛宕まつりが盛大に行われている。子どもから大人まで、そして、家族連れで楽しめ、串間市の夏の風物詩となって定着している。

夜店の数も大層な賑わいも時代の流れとともに年々減少している状況である。旧吉松家住宅前広場と道の駅の完成前に愛宕神社を常に解放した運営と賑わいの向上が望まれる。



### 編集後記

編集委員 内藤 圭亮

1980年代に自分は産まれ、3万人規模から人口減少を抱えたまま衰退していった串間市。

市民の生活、市政運営の歯止めと向上させることは困難：3万人規模でだからこそできていた市民団体も高齢化とともに運営が難しく補助金だよりとなり財源を圧迫していく傾向が見える。

今あるものを運営しながら新しいものを造りだすときマイナスや懸念する声ばかりが耳に入ってくる。行政も議会も幸せを具体的に考えながら一生懸命だ。

今までは、負の遺産に対する再投資など負のサイクルを感じていた。

責任世代の私から見ると、検証まで時間がかかり、マイナスになるかもしれないが、きっかけや起点、挑戦や投資的なのが必要なのは間違いない。『ただ、今すぐに変えることができるのは市民の意識と知る機会につながる議会運営である』。

この市議だよりも一般質問内容だけではなく市民の方々にわかりやすくする為に画像やグラフを取り入れて編集していきたい所存である。

街並みも趣味の多彩さも人口と比例する。